

## 「第5回 キッズデザイン賞」受賞

日本自動ドア株式会社

平成23年8月4日

日本自動ドア株式会社(社長:吉原利美、以下「日本自動ドア」)は、このたびキッズデザイン協議会主催の「第5回 キッズデザイン賞」において、ユニバーサルセーフティー部門の経済産業大臣賞と優秀賞を受賞しました。(http://www.kidsdesign.jp/)

なお今回の受賞により、日本自動ドアのキッズデザイン賞受賞は5年連続となります。

「キッズデザイン賞」とは、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」という理念を実現し、普及するための顕彰制度です。

子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子ども目線をもった良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動など幅広く募集しました。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

今回は、応募総数303点のうち、7月8日に181点が第二次審査を通過し、「キッズデザイン賞」を受賞しました。その中からより優れた作品が8月3日に行われました、キッズデザイン賞表彰式内で、最優秀賞にあたる「経済産業大臣賞」〈4点〉と「少子化対策担当大臣賞」〈1点〉、今年新設の「消費者担当大臣賞」〈1点〉、「優秀賞」〈14点〉、「審査委員長特別賞」〈8点〉、「TEPIA賞」〈1点〉を受賞しました。

また、主な受賞作品は10月8日から10日に越谷レイクタウンにおいて開催される「KIDS DESIGN展 2011(仮称)」で、展示・公開される予定です。

今回の日本自動ドアの受賞内容は以下のとおりです。

- ユニバーサルセーフティー部門

- **経済産業大臣賞受賞**

- ・ ブレイクアウトドアシステム  
(緊急時開放システム)

- ユニバーサルセーフティー部門

- **優秀賞**

- ・ 可動式機械に潜む子どもの危険と安全対策に関する調査研究  
日本自動ドア株式会社/安藤建設株式会社/株式会社ジャクエツ/森ビル株式会社

## 受賞作品の概要

### ① ブレイクアウトドアシステム

(緊急時開放システム)

スライド自動ドアにスイングオープン機能と停電時開放機能をプラスしたブレイクアウトドアシステム(ブレイクアウトドアとは閉鎖端以外どの位置でもスライドするドアをスイングオープンさせることができる自動ドアのことです。)であり、通常はスライドドアとして使用し、停電時にはバッテリーにて開放停止します。自動ドアとして動作中にブレイクアウトさせてもドアが自動で動かないようにストップ機能を持たせています。

仕様

機種名	MBO-AL-S-ST・B	MBO-AL-D-ST・B
ドア開閉タイプ	片引	両引
エンジン取付方法	内蔵型	
適用ドア質量 (kg)	40kg	40kg×2
適用ドア面積 (㎡)	Max 2.2	Max 2.0
適用ドア幅: DW (mm)	650~1000	
対応縦横比率 (縦・横)	Max 3:1	
使用電源	AC100V 5A	
最大使用可能風速	15m/sec	

### 《審査評》

災害時の避難経路に自動ドアがあった場合、停電などで開閉が不可能になった際は閉じ込めになったり、いっぺんに人が押し寄せたりして大事故につながったりする危険性がある。この製品の最大の特徴はドア本体をそのまま外側にスイングさせ開口部を最大にしてスムーズな避難を可能にするという全く新しい発想を取り入れた点である。通常時でも多人数の子どもが移動する際の安全性確保、大規模施設のみならずマンション等への応用が利く点も高く評価できる。

### ② 可動式機械に潜む子どもの危険と安全対策に関する調査研究

センサにより制御される機械は、私たちの身近に数多く存在しており、この中でも、エレベーターやエスカレーター、自動改札機、自動ドア、電動シャッターなどは日常の生活の中でも特に利用回数が多い、建物に付帯する可動式の機械設備であります。本調査では、機械設備のなかで最も設置数が多い自動ドア(スライド式)の設置先の現地調査を行い、危険性のある仕様や設置環境を調査分類し、設置環境に応じた最適な安全対策について研究いたしました。

調査対象 : 東京都内及び近郊の自動ドア設置場所(約500件)

調査期間 : 2009年4月1日～2010年3月31日

内容 : 実際に街の中に取り付けられている自動ドアの実態を調査するために、全国自動ドア産業振興会に協力してもらい、約500件のサンプルを収集することができました。収集したサンプルを前記専門家と我々委員とで危険要因を特定し抽出する作業を行い、23項目の危険要因に分類しました。分類した危険要因ごとに対策を立案しまとめました。調査結果は保護者にもわかりやすい小冊子を作成してホームページ等に掲載しました。

### 《審査評》

子どもの日常生活空間に多数存在する可動式機械の事故事例とその予防策に対して総合的に研究されており、その社会的意義は大きい。状況分類とその対策の整理も明快で汎用性がある。